

鉄道

月刊

1963年8月号 Vol. 13 No. 8

〔信越線電化特集〕

表 紙 新装「佐渡」号 岸 幸男

カラーページ 「碓氷線点描」 小林 正義

グラフ

長野電化完成を目指す 村本哲夫・野津 勝 7

長野電化特報 村本哲夫・小林宇一郎 8

碓氷峠いまむかし（蒸機時代） 高松吉太郎 10

碓氷峠いまむかし（10000からED42まで） 永井重道・倉重昭彦・中川浩一・友田雅之・富野明典

宮本恒夫 12

碓氷峠新ルート 浜 健介 14

信濃路を行く 川崎 正浩 39

〔続〕シャトル周辺の鉄道 宮崎 光雄 40

浅間山麓 生地 健三 42

上田丸子の電車 小林宇一郎・村本哲夫 44

日豊線に初見参の「みずほ」 中島 広 46

ねだいのくるま〔138〕 165・115系直流電車 71

トピックフォト（関東・阪神・中部・中国・九州・東北北海道などより） 72

記事

「今月の話題」長野電化と碓氷新線営業開始 7月15日から 3

<信越線電化特集>

国鉄動力近代化の趨勢——長野電化を機会に—— 三井 一郎 4

信越線横川—軽井沢間線路増設工事について 浜 健介 15

碓氷峠アプト線の70年 川上 幸義 20

〔続〕信州の気動車 氷室 假 30

中軽井沢—長野試運転電車試乗記 黒沢 真一 30

信越線横川—軽井沢間新設線路の営業運転開始について 日本国鉄道 32

鉄道記念碑めぐり〔10〕碓日嶺鉄道碑 中川 浩一 36

失われた鉄道・軌道を訪ねて〔12〕善光寺白馬鉄道 小林宇一郎・宮沢元和 48

根北線遊記 小熊 米雄 34

特急「みずほ」門司一大分初乗記 中島 広 47

〔続〕シャトル周辺の鉄道 宮崎 光雄 56

切手による世界の鉄道 補遺〔2〕 荒井 誠一 60

国鉄経営のあり方について 国鉄諮詢委員会 61

鉄道の話題 38

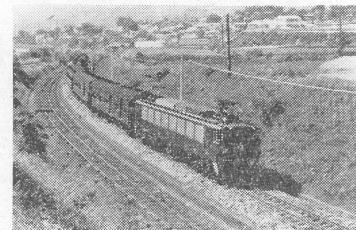
車両の動き 64

質問に答える 66

読者短信 68

6月のメモ帳 70

後部車から・TTK だより 79



早くも営業列車運転の信越線 312レ(EF62) 38.6.21 小諸—平原間 菊地威夫

今月の話題

長野電化と碓氷新線暫定営業開始 7月15日から

軽井沢—長野間79.3キロの直流電化（1,500V）工事は、総工費29億4,400万円（含車両費）で37年4月着工、本年8月完成を目指して工事をいそいでいたが、予定より約1カ月早く1年3カ月の短日間でこのほど完工をみたので、いよいよ7月15日、待望の長野電化開業を迎えることになった。

これに先立ち、横川—軽井沢間の線増工事は去る5月15日完成、その後EF62・63形機関車による粘着運転方式の諸試験並びに乗務員の練習運転を行ない、おおむね所期の成果が得られたので、電車との協調運転、EF62・63形機関車の性能について再確認を要する点が幾分残されているので、これらの運転は一応見送るが、夏の多客期を迎えることになるので、とりあえず7月15日の長野電化開通と同時に、新線による一部電車列車の直通運転を実施する。

長野電化に伴う所要車両は、高崎—長野間の通し運転を行なう本務機関車EF62が24両、碓氷新線区間の補機EF63が13両。それに上野—長野間の直通運転用の165系電車66両であって、いずれも新製を完了することとなる予定であるが、なお、15日から碓氷新線を走る直通列車は上野—長野間の準急2往復（6両編成）と上野—中軽井沢間の準急1往復の3本（現在軽井沢1・2号として横川まで運転のものを延長）であるが、乗務員の訓練と自連強度試験が終り次第、他の列車も漸次新線に移行10月1日から全面的に新線に切りかえる計画である。

〔表紙〕新装「佐渡」号 岸 幸男
下り 703M 東北本線田端付近
38-6-21

ミノルタオートコードL ロッコールF3.5
f: 4 1/250 サクラカラー R-50

TETSUDÔTOSHO KANKOKAI
Nihon Kotsukyôkai Bldg.
Marunouchi 4, 3 Tokyo/Japan